



# とくしま医療センター西病院だより

独立行政法人国立病院機構とくしま医療センター西病院  
四国神経筋センター

第61・62号



第61号・62-1

**理念** 私たちは、病気を持つ人々の立場に立った安全かつ良質な医療を提供します

- 病院名変更のお知らせ
- ご挨拶
- 新任のご挨拶
- 転入職員紹介・新職員紹介
- 地域医療連携室の紹介
- 入退院支援の研修
- 徳島大学医学生の臨床実習
- 神経・筋の研修
- ロボットリハビリテーション研修
- 大規模地震時医療活動訓練
- DMAT研修
- クリスマスコンサート
- クリスマス会
- 県教育センターで行われた作品展
- 新春について
- 徳島県警察音楽隊
- みちのくプロレス1日副院長

## 西病院の診療機能

- **一般医療** 地域医療に貢献します
  - ◎内科
  - ◎外科
  - ◎脳神経内科
  - ◎整形外科
  - ◎消化器内科
  - ◎リハビリテーション科
  - ◎放射線科
- **四国神経・筋センター**  
神経・筋疾患における四国の基幹医療施設です
  - ◎神経・筋疾患
  - ◎筋ジストロフィー
  - ◎パーキンソン病・神経変性疾患
- **総合リハビリテーションセンター**  
多種の疾患に対応して参ります
  - ◎ロボットリハビリテーション
- **臨床研究部**  
四国で唯一の神経・筋領域の研究部です

# 病院名称変更について

徳島病院は、東徳島医療センターと一体の組織として、本年4月1日より運営するにあたり、下記のとおり両病院の組織名称を新たに設け、併せて、両病院の病院名称変更しました。

記

[組織名称](新設)

**とくしま医療センター**

[病院名称](変更)

**とくしま医療センター西病院** (所在地:徳島県吉野川市)

(旧徳島病院)

**とくしま医療センター東病院** (所在地:徳島県板野郡板野町)

(旧東徳島医療センター)

## ご挨拶

令和6年4月1日に「とくしま医療センター西病院」  
として新たな出発に際し、皆様にご挨拶申し上げます。

昨年度、当院には大きな変化がございました。令和4  
年度から進めていた病床機能再編を令和5年11月1日

に完了し入院病床を236床に集約しました。その後、11月から令和6年2月にかけて、ポストNICU(新生児集中治療室入室後の後方支援)機能をとくしま医療センター東病院(旧東徳島医療センター)に移し、医療的ケア児者を含む重症心身障害児者の診療機能を強化しました。当院では筋ジストロフィー等の神経筋疾患・難病の診療機能を、一層強化する方針です。2病院が1組織になることで、神経筋疾患・難病、医療的ケア児者・重症心身障害児者、結核・呼吸器疾患のセーフティーネット医療を、とくしま医療センターとして包括的に提供する体制を整えました。さらにMRIとCT装置、医療ガス設備、給食用温冷配膳車の更新、空調工事、非常電源(自家発電)装置の改修(令和6年度に完了予定)等を推進しました。引き続き「安全かつ良質な医療」の提供に努めたいと思います。

当院を取り巻く環境は変化しておりますが、これまでの歴史・伝統と使命を重く受け止め、とくしま医療センター東病院との連携を一層強化し、全職員が一丸となって精進したいと存じます。皆様には、引き続きご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年4月1日

独立行政法人 国立病院機構 とくしま医療センター

院長 近藤 秀治

統括院長 井内 新

# 地域医療連携室の紹介

地域医療連携室係長 富樫 和代

日頃より、とくしま医療センター西病院へのご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。地域医療連携室は、地域の医療機関との連携をはじめ、常に患者さんやご家族の



方に寄り添い、適切な医療と十分な社会福祉を受けていただけるよう努力しております。

今年の3月には退院調整看護師が1名増え、4月には地域医療連携室の係長が替わりました。不慣れで行き届かないことがありご迷惑をおかけしておりますが、これからも皆様のご要望にお応えできるよう尽力して参る所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 令和5年度入退院支援に関する実践力向上研修に参加して

すみれ病棟 藤原 絢子

令和5年9月から令和6年1月の約4ヶ月間「令和5年度入退院支援に関する実践力向上研修」に参加させて頂きました。日頃は療養病棟で勤務しており、入退院支援や在宅療養に関する経験や知識不足の部分もありました。研修では入退院支援に必要な知識を講義や実習を通し、多くのことを学ぶことができました。今回の研修で訪問看護師やケアマネジャーに同行し、在宅療養中の利用者さんの生活を見学させて頂き、今まで経験したことのない貴重な体験をさせて頂きました。今後はこの経験を活かし、患者さんやご家族の方が、安心して療養生活を送ることができ、治療や今後の生活が納得したものになるよう関わり、寄り添いながら地域の医療とも協働しながら看護を実践していきたいと考えています。

# 徳島病院での臨床実習

徳島大学医学部5年生学生

1月から1ヶ月間実習させていただいた学生です。

今回は実習を通して感じた、これから大事にしていきたい事を2点、お話をさせていただきます。まず最初に、患者さん思いであることです。

外来では患者さんとの日常会話を大切にしたり、病棟では様々な工夫を施して治療に対して前向きになれる取り組みがなされていました。

患者さんにとって救いになるものだと感じました。

2つ目は、後輩思いであることです。

僕たち学生の事を気にかけていただいたり、困ったことなどがある時はいつも相談に乗ってくださいました。そのおかげもあって、とても過ごしやすい日々でした。

これらの事を忘れずに、この先の学生生活や医師人生を送っていきます。

指導医の先生をはじめ、多くの方にお世話になりました。最後になりましたが、1ヶ月間ありがとうございました。

## 令和5年度「神経・筋疾患」政策医療ネットワーク協議会・中国四国ブロック研究発表会

臨床研究部長 三ツ井 貴夫

令和6年2月17日(土)に吉野川市の日本フネン市民プラザで令和5年度「神経・筋疾患」政策医療ネットワーク協議会・中国四国ブロック研究発表会が当院の主催で開催されました。当院を含め全部で8病院から様々な職種の方々が生計100名(うち当施設から52名)が参加されました。

発表会は5つのセッションに分かれ、計26演題(当施設からは7題)の発表がありました。当施設内でも他部門の職員が日頃どのような活動をしているのかを改めて知る機会になったかと思ひます。また他施設の様々な取組もこれからの業務改善のヒントになる事でしょう。発表者の皆様、関係者の皆様、大変お世話になりました。そしてお疲れ様でした。なお来年は山口県で開催されますので奮って参加しましょう。



# 文科省スーパーサイエンスハイスクール徳島県立富岡西高等学校の生徒の皆さんがロボットリハビリテーションを体験されました!

リハビリテーション科外科系診療部長  
徳島大学臨床教授 高田 信二郎

2018年、私どもは文科省からスーパーサイエンスハイスクールに指定された徳島県立富岡西高等学校の運営指導と同校生徒の皆様が実施する科学研究の指導とを徳島県教育委員会から委嘱されました。2023年12月6日、同校第2学年の生徒の皆様13名が2名の引率教諭の先生方ともに来院され、本院総合リハビリテーションセンターで実施されている先進的リハビリテーション、特にロボットリハビリテーションの概要を学ばれました。

この度の体験学習では、本院に常設するサイバーダイン社製装着型サイボーグHAL® 医療用下肢タイプ3台、本田技研工業歩行アシスト1台、イノフィス社製マッスルスーツ1台を用いました。これらのロボットの駆動原理、臨床の現場での治療内容を説明させていただいたのち、各々ロボットを装着してロボットリハビリテーションの実際について体験をしていただきました。生徒の皆様は、実際に上記ロボットを見て、触れることが初めてのことでしたので少々の興奮、驚嘆そして感激の中で体験学習が始めることになりました。図は体験学習の光景と、その後の集合写真です。生徒の皆様の明るい笑顔には、大変癒されました。

この体験学習は、同校がスーパーサイエンスハイスクールとして指定される前年である2017年から現在まで、定期的で開催して参りました。2017年、同校第2学年の生徒の皆様が修学旅行の中の訪問先として装着型サイボーグHALを開発したサイバーダイン株式会社を訪問し、そこでロボットの先進性と可能性とを強く感じ取りました。帰県後、その生徒の方々から教職員の先生方に対し、ロボットやそれを応用したリハビリテーションについて学びたいという強い希望が寄せられました。そして、本院におけるロボットリハビリテーションを体験していただくことになりました。体験学習に来られた生徒の皆様の共通項は、ロボットやそれを応用したリハビリテーションを学び取り、将来の職業として医療職やロボット研究開発者として選択したいという強い希望をお持ちであったことです。

先日、同校の教職員の方から、スーパーサイエンスハイスクール第1期5年間の成果が文部科学省によって審査され、第2期5年間のさらなる指定を受けられたとの吉報が届きました。さらに、今年度の大学入試でも徳島大学医学部医学科の合格者が出たそうです。同校が鋭意推進された科学教育の素晴らしい成果だと思えます。これらの吉報は、本院における先進的リハビリテーションの研究開発のための機動力となりました。



私どもは、生徒の皆様が医療職あるいは近未来のロボット研究開発者として世に出て活躍されることを確信しています。いつの日か、医療職やロボット研究開発者として皆様と再会できる日を楽しみにしています。日本の医療や科学の将来は大変明るいようです。

この度の体験学習の実現には、近藤院長、馬淵理学療法士長の支援を得て、ロボットリハビリテーションの熟練者である澤田、吉兼理学療法士には生徒さんへのロボット装着とロボットリハビリテーションの実際について提示をしてもらいました。会場の設営は、事務職員にしてもらいました。

# 大規模地震時医療活動訓練に参加して

すみれ病棟 美馬 彩香

昨年9月、大規模地震時医療活動訓練(政府訓練)に当院は初めて参加しました。今までに災害時医療活動訓練を行っていない当院は不安を抱えての訓練参加であり、院長・看護部・事務部から計7名での参加となりました。訓練では災害本部の立ち上げ、傷病者のトリアージ、DMAT隊の要請等を行いました。実際に訓練を行った結果、今後取り組む課題も明らかになり全員危機感を持ちましたが、時は経ち令和6年能登半島地震で危機感を新たにしたもの3ヶ月経過。状況は残念ながら何も変わっていません。

近い未来に南海トラフ大地震の発生が予測されています。災害を防ぐ事は出来ませんが、被害を最小限にすべく訓練経験を活かして、災害対応に取り組みたいと思います。



# 令和5年度徳島DMAT研修に参加して

すみれ病棟 美馬 彩香

令和5年12月に2日間、徳島県立中央病院で開催された徳島DMAT研修に参加させて頂きました。1日目は、災害現場の通信手段であるトランシーバーの使用方法、広域災害救急医療情報システム(EMIS)の使用方法、トリアージ方法等について学習しました。トランシーバーは、初めて使用したので無線用語を用いて現場の状況を伝えることに苦戦しました。トリアージについては、START法を用いて30秒程度で患者さんの様態を評価し赤・黄・緑・黒の4群に分類するため迅速な観察能力が必要だと実感しました。2日目は、1日目に学習した総合的な内容を基に災害現場を再現し総合シミュレーションを行いました。

現在日本各地では、様々な自然災害が発生しているため、いつどこで災害現場に直面するかわからないので、日頃から災害に備え準備をすることが大切だと感じました。



# クリスマスコンサートを実施しました♪

療育指導室 児童指導員 井内 香住

令和5年12月15日(金)にエルパ所属のサクソ奏者の渡邊美砂さんをお迎えして、1階病棟とすみれ病棟のナースステーション前にてクリスマスコンサートを実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で院外の方をお呼びしたイベントは、4年ぶりだったこともあり、イベント前から大変盛り上がっていました。

1階病棟とすみれ病棟で演奏曲のラインナップを別に用意して下さっており、1階病棟では、赤鼻のトナカイ、Have Yourself A Merry Little Christmas、君の瞳に恋してる、What A Wonderful World等、計12曲披露してくださいました。

すみれ病棟では、サンタが街にやってくる、ホワイト・クリスマス、ルパン三世のテーマ、ベンのテーマ等、計12曲披露してくださいました。

当日は迫力のあるサクソの音色が病棟全体に響き渡り、鈴やタンバリンを使って音を鳴らしながら楽しめる患者さんや、音楽に合わせてリズムをとられている患者さん、演奏後にサインをお願いしている患者さんなど、皆さん思い思いに楽しまれ



## クリスマス会を行いました

療育指導室 児童指導員 井内 香住

令和5年12月14日(木)にすみれ病棟、21日(木)に1階病棟のクリスマス会を行いました。午前中は両病棟共通で「クリスマスジャンボ抽選会」を行い、会場に参加されている患者様に今年の楽しかったエピソードを発表してもらい、景品お渡し会を行いました。

午後からは、毎年患者さんが楽しみにされている病棟スタッフによるアトラクションを行いました。すみれ病棟からは、昨年再々ブレイクした「マツケンサンバII」のダンスを披露して下さり、1階病棟からはクイズ大会を行い、会場は大変盛り上がりました。

その後、ベッドサイドの患者さんへ景品お渡し会と写真撮影を行いました。

21日に実施した1階病棟のクリスマス会当日は雪が降り、雪を背面にして記念撮影を行いました。皆さん素敵な笑顔でクリスマス会を楽しまれました。



# ●●セカンドライフ展

療育指導室 藤田 瑞稀

去る、2023年11月徳島県立総合教育センターのマナビセンター交流コーナーにてすみれ病棟○○○様、○○○様の兄弟作品展「セカンドライフ展」を行いました。作品展は16日間行い、多くの方にご来場いただきました。兄○○様は「海の生き物」をテーマに、約1年かけて絵画制作に取り組みられました。細部までこだわった色とりどりの魚たちはとても鮮やかで美しいものでした。弟○様は「一期一会」をテーマにして、七宝焼きや折り紙の立体作品など様々な種類の作品を出展されました。七宝焼きは何段階も工程を経て仕上げる物で二度と同じものは作れないものです。作品との出会いはまたとない出会いであることがタイトルの由来となっています。かわいらしいキャラクターからリアルな花草までジャンルを問わず作品作りをされています。お二人の作品はとくしま医療センター西病院(当院)アートストリートにて展示中です。お立ち寄りの際は是非ご覧ください。



# 2024年!新春を迎えました

療育指導室 藤田 瑞稀

2024年が始まりました!1月初旬、療養介護病棟では「新春を祝う会」を開催しました。デイケア棟では「新春か!?もも鉄大会」を行いました。徳島県の汽車の線路をモチーフに、各駅に止まり、お題に挑戦する人生ゲームのようなレクリエーションです。すみれ病棟、1階病棟の利用者様が混合チームになり、利用者様同士協力してお題に挑まれました。病棟巡回では「サイコロ予言ゲーム」に挑戦していただきました。サイコロの出る目予想は難しいようでしたが、中には見事予想的中される方もいらっしゃいました。ひとときですが、新春らしく賑やかに楽しく過ごしていただけたのではないかと感じています。今年も、利用者様に楽しいひとときを過ごしていただけるようにさまざまな企画を準備中です!



# 徳島県警察音楽隊 「バレンタインハートフルコンサート」

療育指導室 和田 勇貴

令和6年2月9日(金)に徳島県警察音楽隊の方々  
来院され「バレンタインハートフルコンサート」を開催  
しました。当院では警察音楽隊による演奏会は初開  
催。総勢、約20名の警察音楽隊の方々  
が素敵な制服姿で楽器を持ち、演奏が始まる前  
から圧倒されました。演奏は、NHK朝ドラの「東  
京ブギウギ」から始まり、アニメソングや昭和歌謡  
曲メドレー、平成アイドルメドレーや最新曲まで、  
幅広い年代の曲を演奏してくださいました。また、  
ジャンボリミッキーなどダンスもあり観ても楽し  
める内容でした。

今回、たくさんの方が、デイケア棟にあつまり、  
隣接の保育園や支援学校の方達も参加してくれ  
るなど、大盛況のイベントになりました。

徳島県警察音楽隊の力強さもありながら、優し  
く心に入ってくる演奏を聴き、とても充実した時  
間になったように思います。ありがとうございました!



## 新崎人生さん 一日副院長イベント ～プロレスラー新崎人生さんが総回診にやってきた～

療育指導室 和田 勇貴

令和6年2月13日(火)にみちのくプロレスの新崎人生さんが一日副院長として、病院内や隣接の支援学校、保育園へ総回診をされました。

まず、院長より「一日副院長」を任命され、特注の白衣と聴診器、名札を身につけて保育園と支援学校を回診しました。子ども達は大きな人生さんに大興奮!筋肉をたくさん触らせてもらっていました。院内では、各病棟を総回診し患者さんとたくさん交流していただきました。さらに、人生さんが20年前に支援学校に来たときに生徒だった患者さんもおられ、「久しぶりにあえてうれしい。サインください」と大喜び。様々な患者さんに元気やパワーを運んでくださいました。普段と違う楽しい日常になったように思います。



# 外来診療案内

令和6年6月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	
内科	木村	齋藤	柏木	倉橋	足立※4 (完全予約制)	
消化器内科	木村		柏木			
脳神経内科一診	武内	三ツ井	高原	三ツ井	谷口	
脳神経内科二診					堤	
外科					大畑	
整形外科			※1			
リハビリテーション科			高田※1			
放射線科	岡田					
外来リハビリテーション	高田	高田	高田※1	高田	高田	
専門外来	スポーツ整形外来 (午後)	岩瀬(毅)※2		岩瀬(毅)・岩瀬(穰) (予約のみ)※3		
専門外来・予約制	循環器内科(午後)			井内(予約制)		
	糖尿病外来			倉橋(午前)		
	筋ジストロフィー外来(小児科)	近藤・宮崎・渡邊		近藤・宮崎・渡邊		
	成人筋ジストロフィー定期診療外来				足立	
	パーキンソン病専門外来	武内	三ツ井	高原	三ツ井	谷口・堤
	物忘れ外来	武内	三ツ井	高原	三ツ井	谷口・堤
	禁煙外来					足立
	セカンドオピニオン外来 (脳神経内科)	脳神経内科医師				

※1 整形外科を受診希望の場合は、リハビリテーション科(水曜日)を受診してください。外来リハビリテーション水曜日前以外の診察日は総合リハセンターでの診察となります。  
 ※2 スポーツ整形外来(火曜日):初診の場合は予約制(電話予約のみ)です。再診の場合は受付順(受付時間は午後0時30分から4時30分まで)となります。  
 ※3 スポーツ整形外来(木曜日):初診・再診とも予約制となります。初診は電話予約された患者様、再診は医師からの指示のあった患者様の診察となります。  
 ※4 足立医師の外来は、完全予約制となります。

## お知らせ(注意事項)

- ①受付時間は午前8時30分から午前11時までです。(受付時間以外の診療はお電話でご相談ください。)
- ②整形外科(水曜日)の受付は原則午前10時までです。
- ③外来リハビリテーションは再診のみです。初診の方はまずリハビリテーション科(水曜日)を受診してください。
- ④スポーツ整形外来は毎週火・木曜日の午後の診察になります。受診については上記※2(火曜日)、※3(木曜日)をご確認ください。
- ⑤筋ジストロフィー外来は予約制です。
- ⑥セカンドピニオン外来は主として脳神経内科の相談になります。(予約制)

## 交通案内

- JR鴨島駅からタクシーで約7分
- 徳島自動車道「土成インター」から自家用車で約15分

## 案内マップ



(文責 広報部)



独立行政法人国立病院機構  
とくしま医療センター  
**西 病 院**  
四国神経筋センター

〒776-8585 徳島県吉野川市鴨島町敷地1354  
TEL 0883-24-2161(代表) FAX 0883-24-8661  
ホームページアドレス <https://tokushima.hosp.go.jp/>

発行年月 令和6年6月